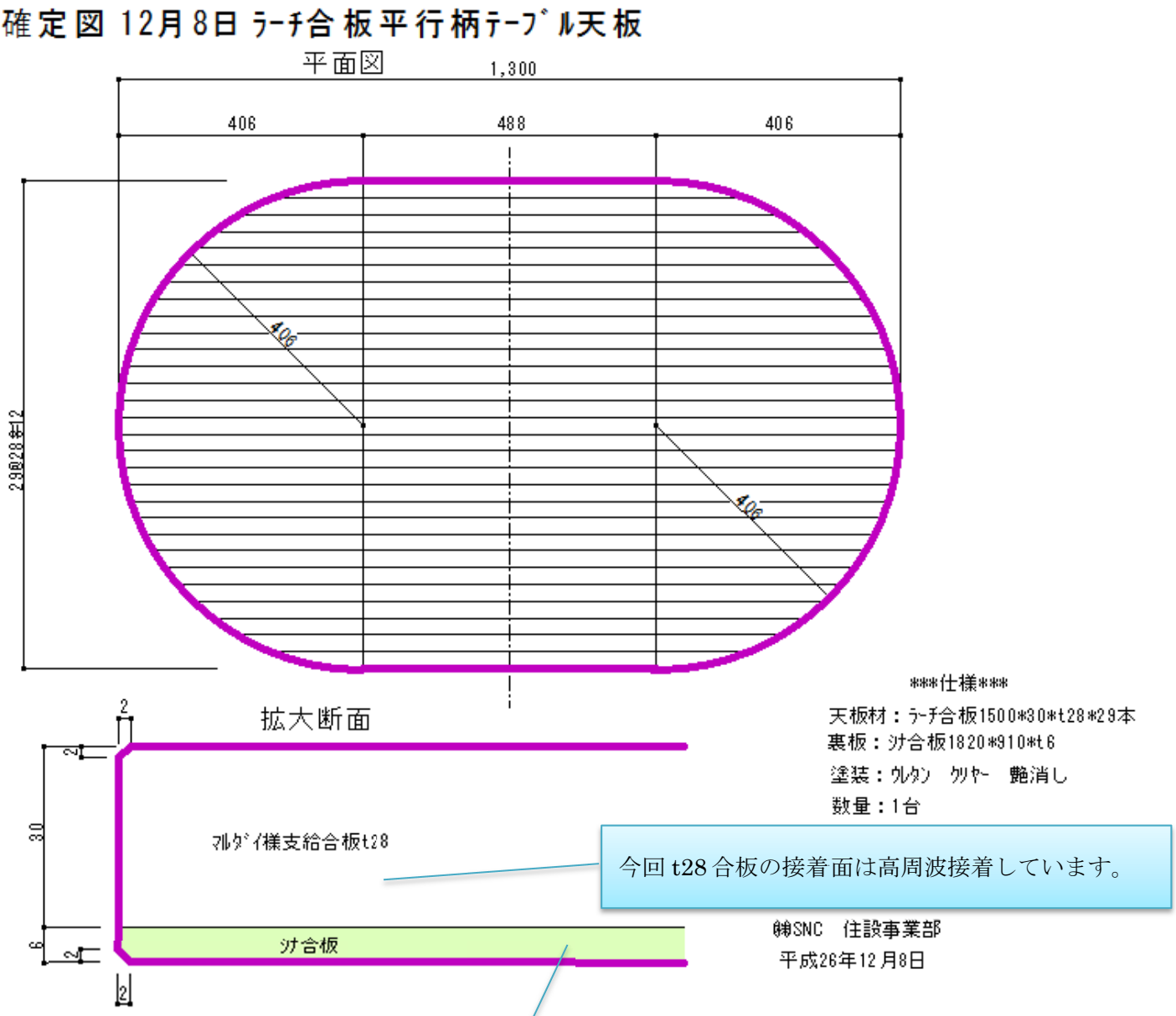
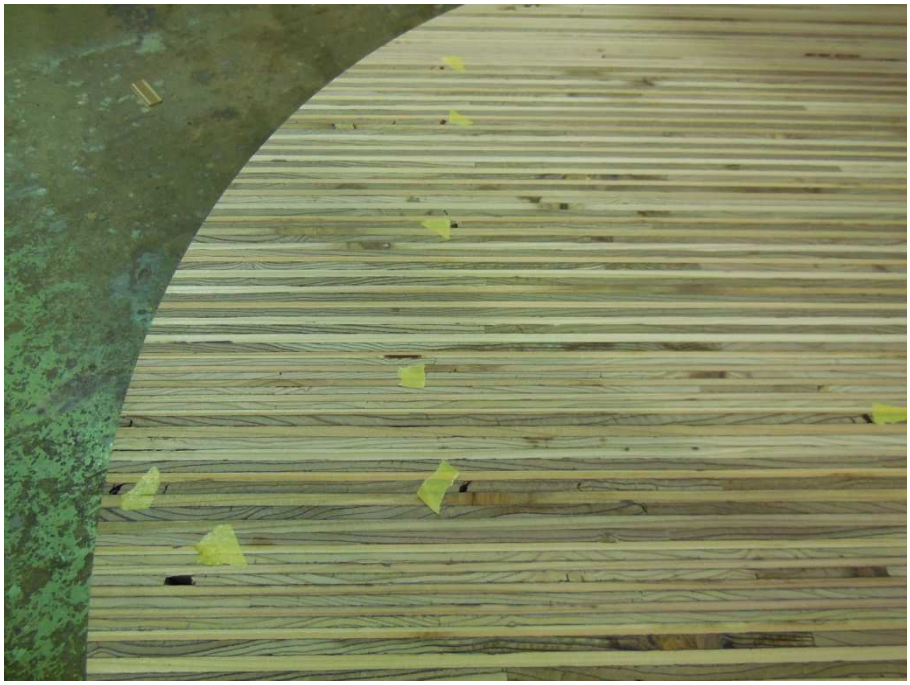
平行合板柄の長丸のテーブル天板の製作について

今回はお客様が㈱マルダイ様で平行合板柄の打ち合わせ用のテーブルを見て気に入れられ、寸法が1300*812*t36 の長丸のテーブル天板を製作することになりました。
また、この平行合板柄のテーブルは 6 年前にプレカット構造用合板の端材の再利用という目的から生まれた商材であり、一般住宅用のテーブル、喫茶店の店舗用テーブル、座卓、ベンチ、スツール、カウンター材、トイレ手洗いカウンターなどとして製作してきました。
そして、久々の製作依頼となりました。



T28*H30*1320 の合板 29 本を高周波接着し、ワイドサンダー掛けして、裏面シナ合板を接着した状況です。これから NC 加工にて曲線部をカットします。



天板化粧面の抜け、割れ節の箇所を穴埋めします。
穴(3mm 角以上)は合板の切粉を塗料と練って埋め込み、小さい穴はそのままにしてパテの使用は控えました。

これから木口の面取り後、ウレタン艶消し塗装に入ります。

裏面：シナ合板仕上げ。

人工的な合板であっても板厚３mm 程度の木の無垢の個性を集めた平行柄は捨てがたい趣があります。

㈱SNC　住設事業部　Da・Monde 鈴木

平成 26 年 12 月 29 日